

「ラテンの世界を見る視点」

—南欧諸国とラテンアメリカの統合的把握—

2014年7月

拓殖大学政経学部

松井謙一郎

構成

I. 中南米からスペインへの移民の問題

- スペイン経済のバブルと移民の増加
- 中南米からの移民と住宅問題

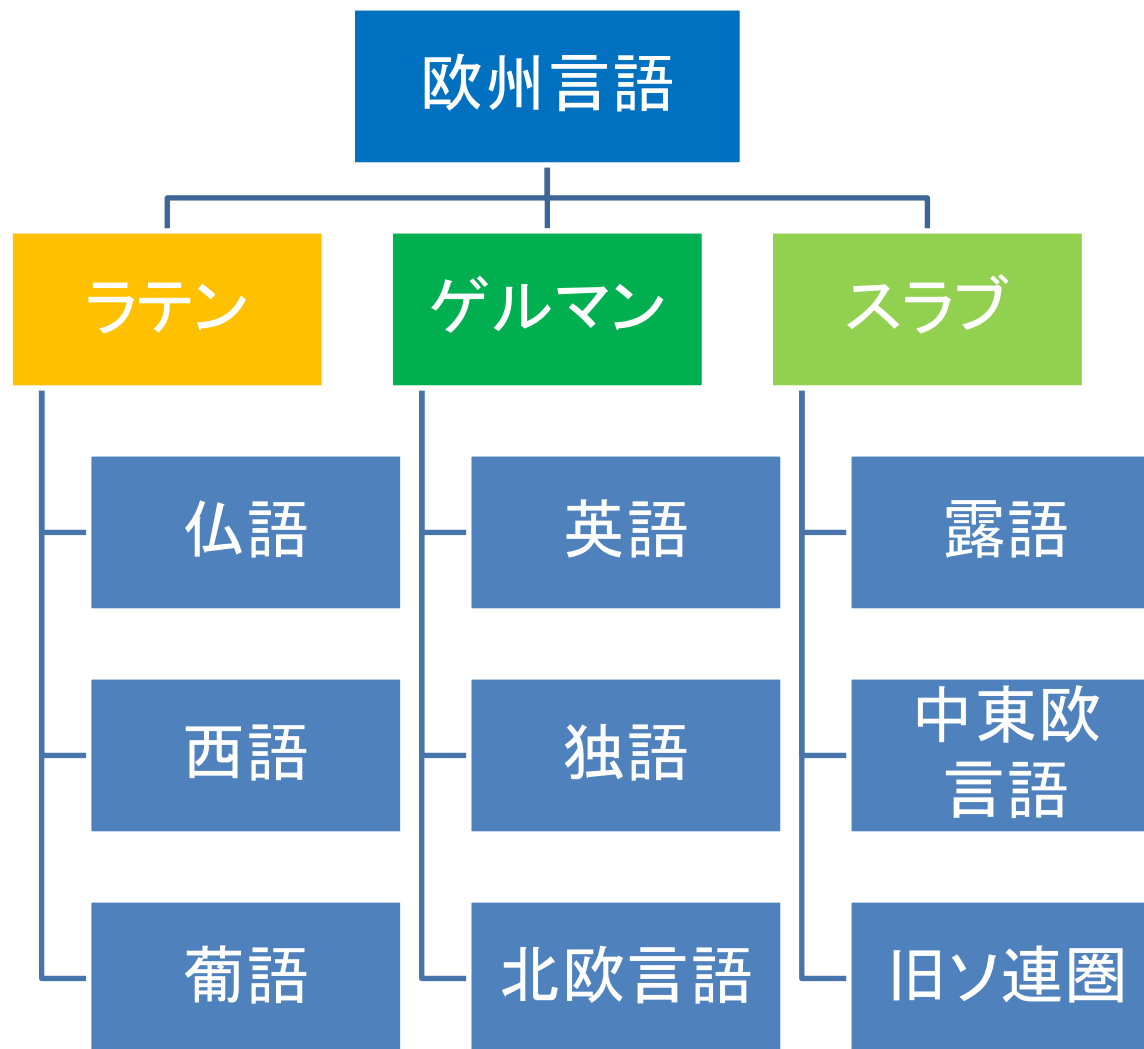
II. 米州におけるヒスパニック移民

- 米国のヒスパニック移民と郷里送金
- スペインの移民問題との比較と含意

III. 「ラテン世界」のイメージの再構築

- 中南米主要3か国の視点
- アフリカのラテン語圏諸国

(導入) ラテン系の言語



(導入)ラテン(言語の類似性)

ロマンス語学(ラテン系言語の相互比較学)
⇒語彙、文法等の類似性を学問的に立証

⇒ローマ帝国の公用語はラテン語
帝国崩壊後に各言語に分化

	ラテン語	仏語	西語	葡語
見る	Videre	Voir	Ver	Ver
来る	Venire	Venir	Venir	Vir
言う	Dicere	Dire	Decir	Dizer
定冠詞	—	Le La Les	El La Los、Las	O A Os、As

(出所) 筆者作成

(導入)「ラテンアメリカ」とは？

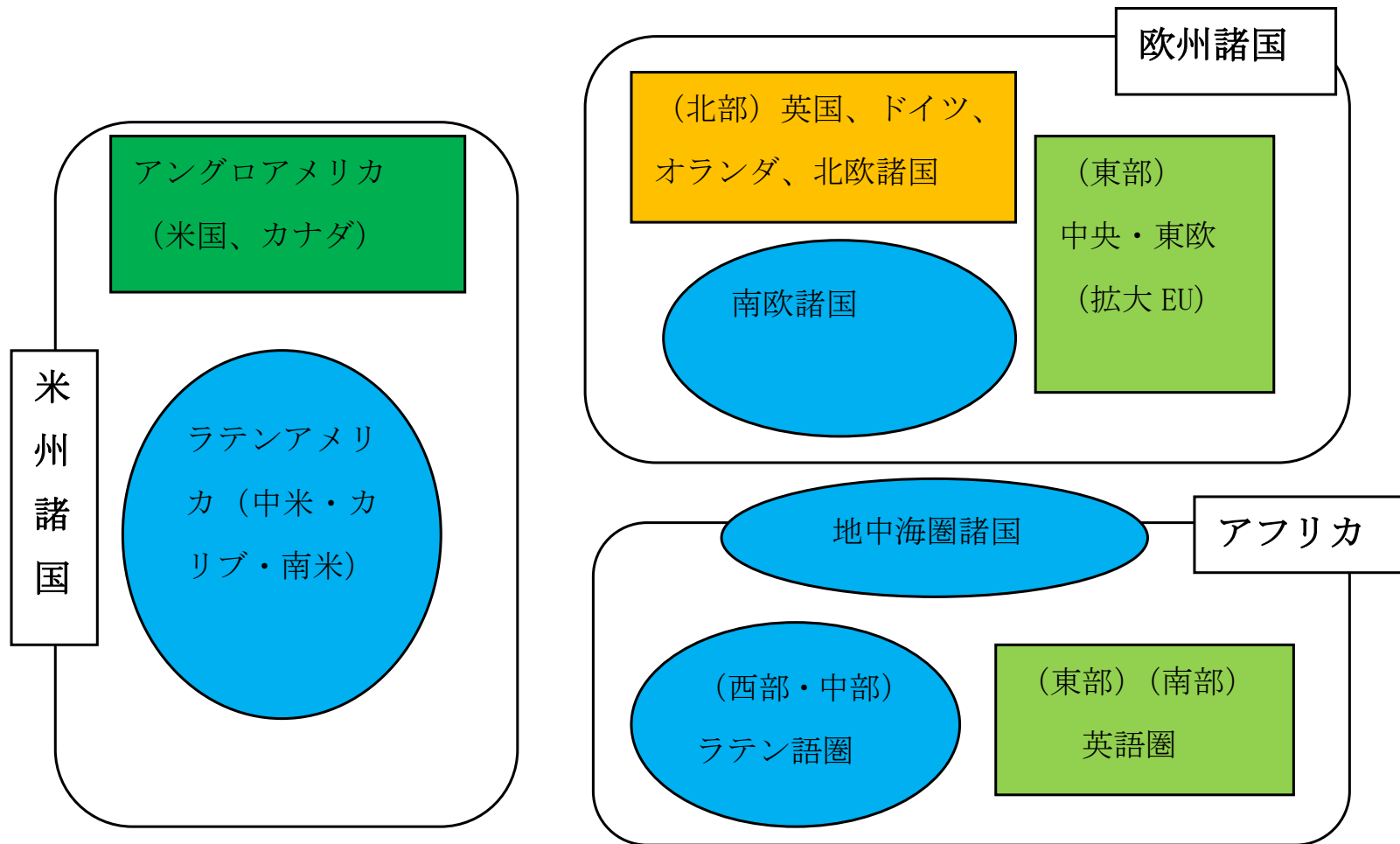
<ラテンアメリカとは>

- 19世紀中頃までは「アメリカ・エスパニョーラ」の呼称が定着
- その後は、当時の文化の中心であったフランスとの一体感を示す呼称として「アメリカ・ラティーナ」が定着

<用語の相対性(問題点)>

- カリブ海は英語圏諸国が多く、「中南米・カリブ」の方が正確
- スペインと「イスパノ・アメリカ」の表現
- イベリア半島の2か国(西葡)と「イベロアメリカ」の表現

(導入) 地域横断研究の重要性



1. スペインと移民の住宅借入問題

2000年代の経済環境

- **2000年代の変化**
好調な経済持続と不動産バブルの持続
- **移民政策の転換**
積極受入への転換
- **環境の大幅な悪化**
2008年のグローバル金融危機、2010年代ユーロ危機

住宅ローン問題

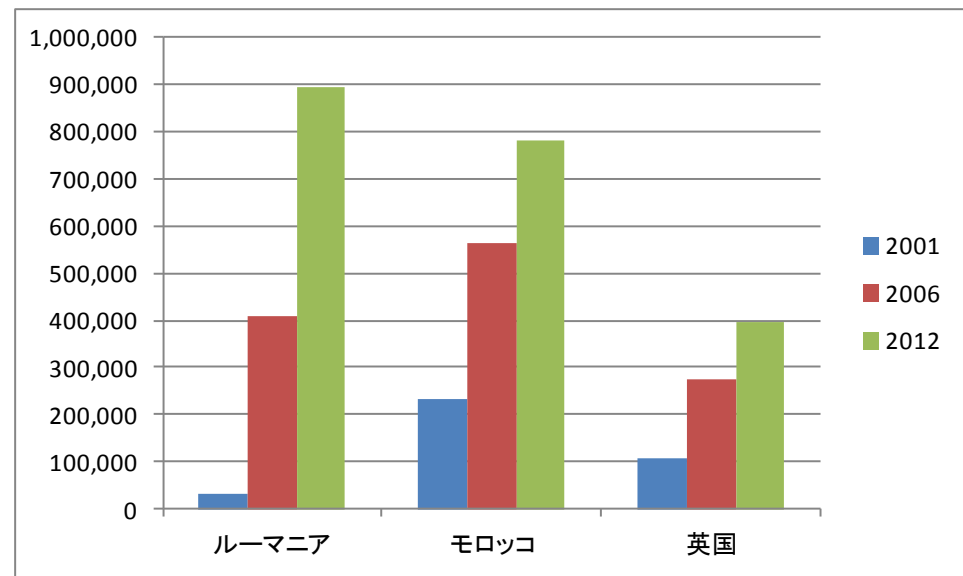
- **不動産バブルの崩壊**
最近のDesahucios(住宅強制立ち退き問題)の深刻化と社会問題化
- **米国の問題との類似性**
米国でのバブル崩壊とサブプライムローン問題に類似「第2のサブプライム問題」

1. スペインの移民受入増加

＜スペイン移民の主要な出身国＞

- ◆ 欧州域内ではルーマニアからの移民の増加が顕著、これに次ぐのがモロッコ・英国
- ◆ 中南米からはアンデス諸国(エクアドル・コロンビア等)が大半を占める

	2001	2006	2012
ルーマニア	32	407	896
モロッコ	233	563	783
英国	107	275	398
エクアドル	139	461	306
コロンビア	87	265	245
アルゼンチン	32	150	229
ドイツ	99	150	197
イタリア	35	116	192
ボリビア	7	140	185
ペルー	31	125	182



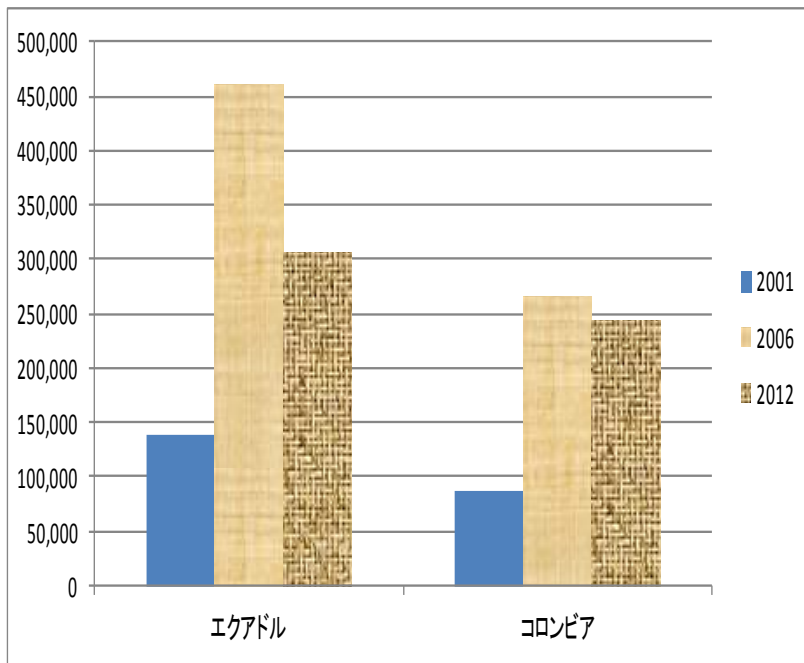
(出所)スペインのセンサスのデータベースより作成 (注)移民数の表の単位は千人

I. 中南米からスペインへの移民

エクアドルとコロンビアのスペインへの移民関連データ

**2000年代に大きく増加
(移民数の推移)**

**外貨獲得源の多様化
(郷里送金) [単位: 百万ドル]**



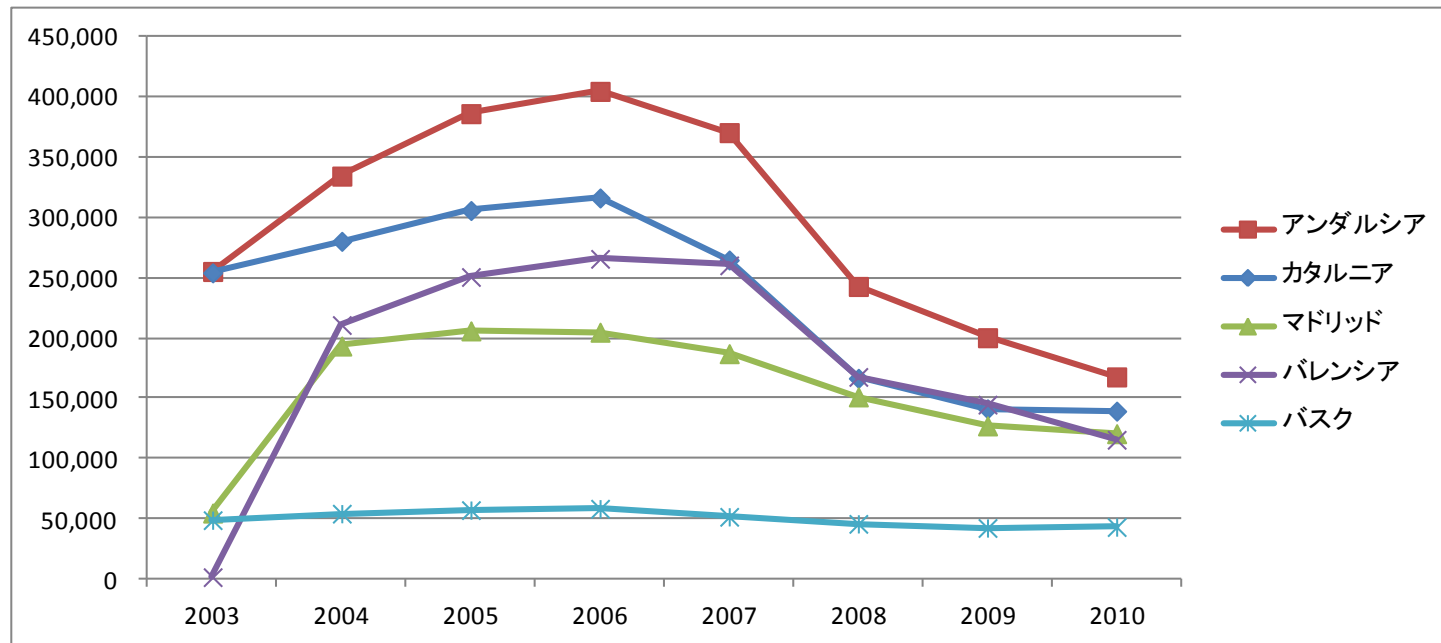
	2010	2011	増減率
コロンビア	1,290	1,286	99.7%
エクアドル	923	938	101.6%
ボリビア	613	603	98.4%
ルーマニア	382	363	95.0%
ドミニカ共和国	288	349	121.2%
パラグアイ	324	298	92.0%
モロッコ	296	291	98.3%
中国	252	254	100.8%
ペルー	259	233	90.0%
ブラジル	252	233	92.5%

(出所) 移民数はスペインのセンサスより、郷里送金はRemesas.orgより作成

1. 不動産バブルと崩壊

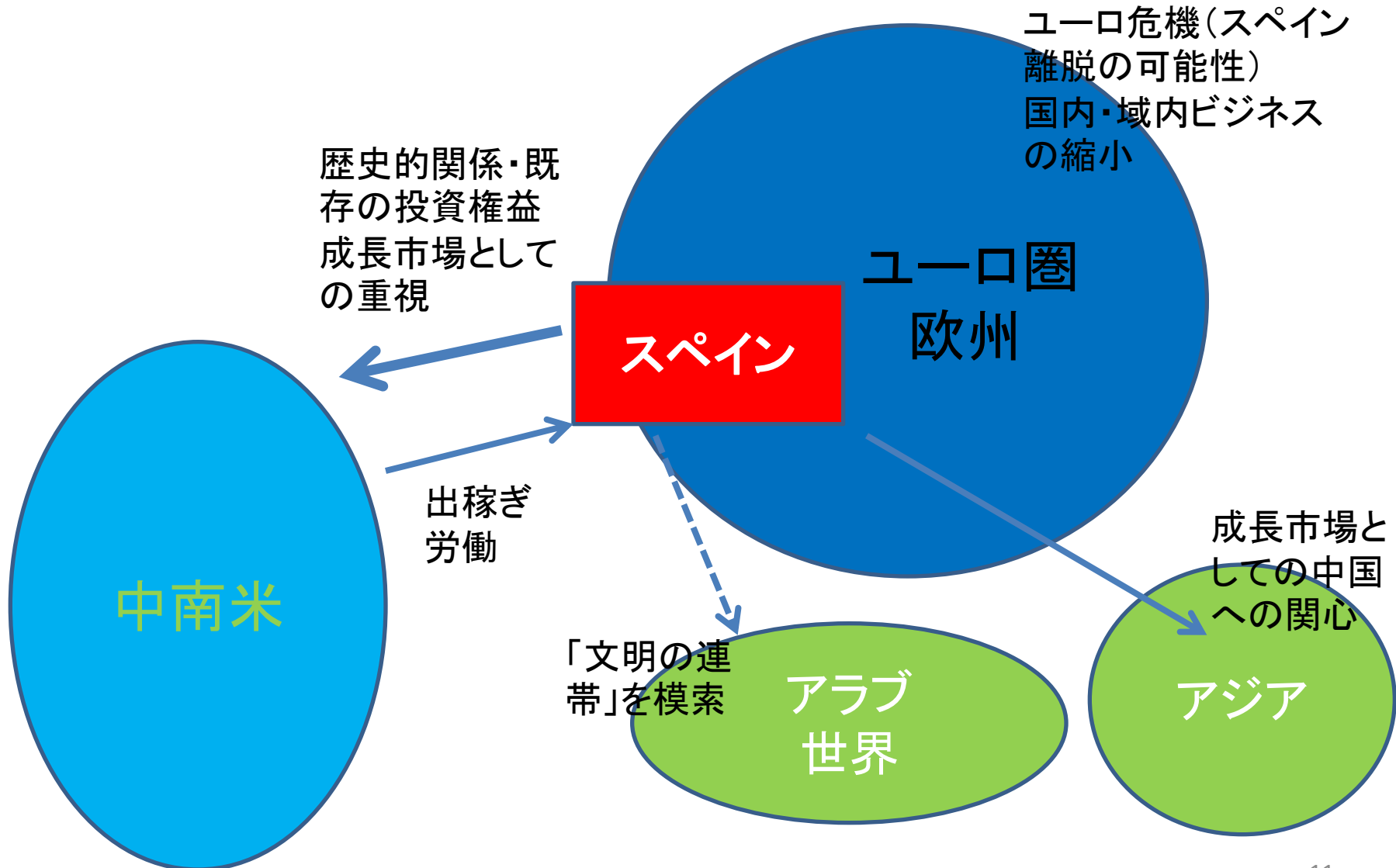
主要な州での担保付不動産貸出の件数

- ◆ マドリッドや地中海沿岸地域(カタルニア、バレンシア、アンダルシア等)では不動産バブルが顕著
- ◆ バスクでは殆ど見られず対照的な状況

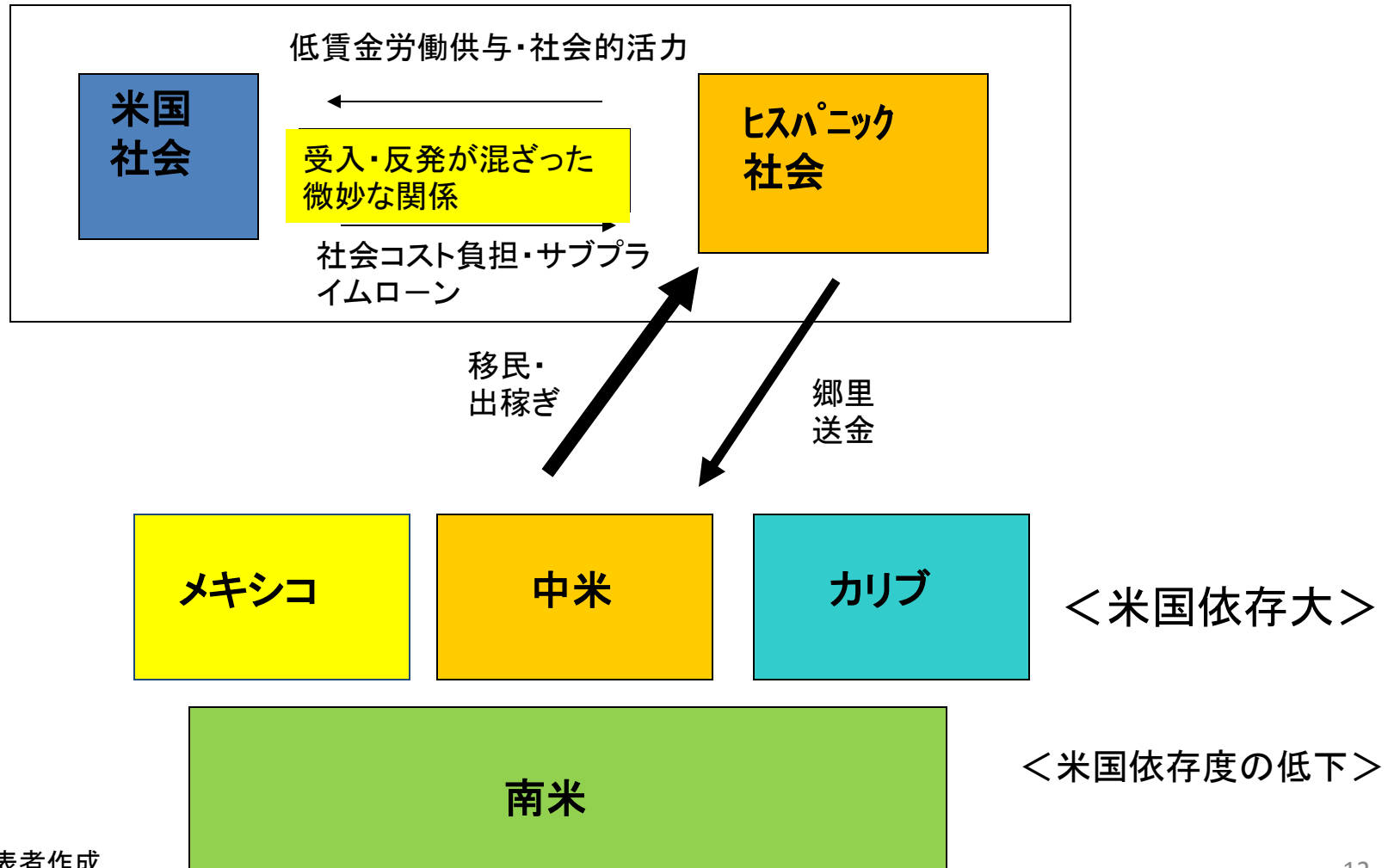


(出所)スペインのセンサスのデータベースより作成

1. スペインが直面する課題



II. 米国とヒスパニック移民



II. 移民の郷里送金の重要性

	(2010年データ)	輸出額	財サービス投資収支	移転収支受取	(内、送金受取)	(送金受取対輸出比率)
中米	コスタリカ	9,482	▲ 1,809	610	506	5.3%
	エルサルバドル	4,577	▲ 4,087	3,670	3,431	75.0%
	グアテマラ	8,566	▲ 5,646	4,844	4,163	48.6%
	ホンジュラス	5,742	▲ 3,117	2,818	2,594	45.2%
	ニカラグア	3,157	▲ 2,136	1,173	823	26.1%
	パナマ	11,330	▲ 3,144	458	204	1.8%
カリブ	ドミニカ共和国	6,598	▲ 7,553	3,473	2,994	45.4%
	ハイチ	562	▲ 3,262	3,264	1,474	262.3%
	ジャマイカ	1,370	▲ 2,944	2,293	1,906	139.1%
南米	ボリビア	6,291	▲ 208	1,188	939	14.9%
	コロンビア	40,777	▲ 13,507	5,343	4,023	9.9%
	エクアドル	18,137	▲ 4,095	2,654	2,324	12.8%
	ペルー	35,565	▲ 5,341	3,033	2,534	7.1%
北米	(メキシコ)	298,860	▲ 27,169	21,590	21,271	7.1%
	合計	408,160			37,465	9.2%
	(米国)		(送金支払)		▲ 37,080	

(出所) IMF BPS (Balance of Payments Statistics) のデータに基づき作成 (単位) 百万ドル

II. 移民受入の意義・役割

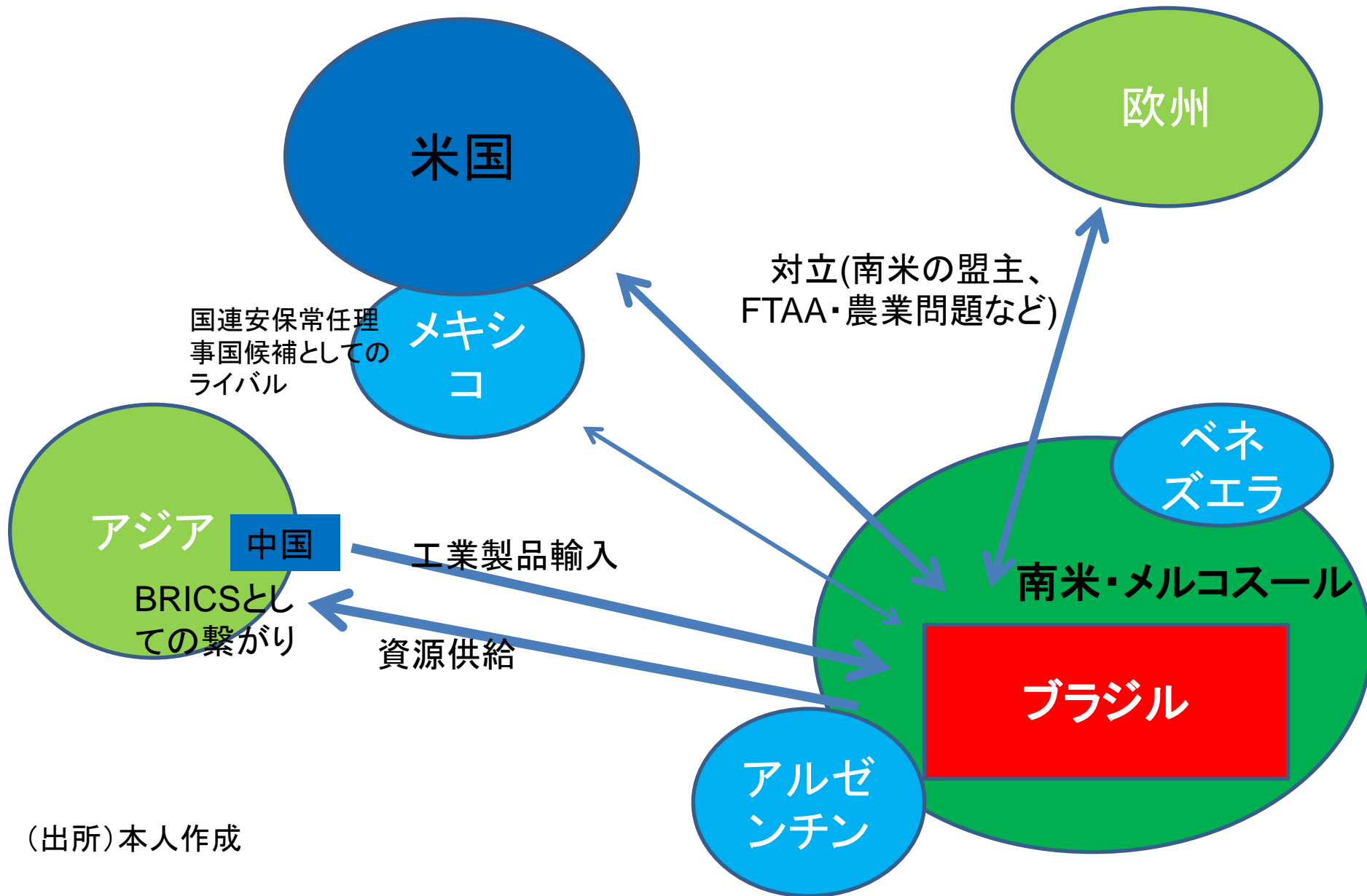
米州システムの視点

- **米州システムとしての役割**
米国による労働力吸収
移民の郷里送金による送り出し国の国際収支の安定
⇒米州地域の安定に貢献
- **依然として重要な役割**
グローバル金融危機後に一時的な落ち込みはあったが、依然重要

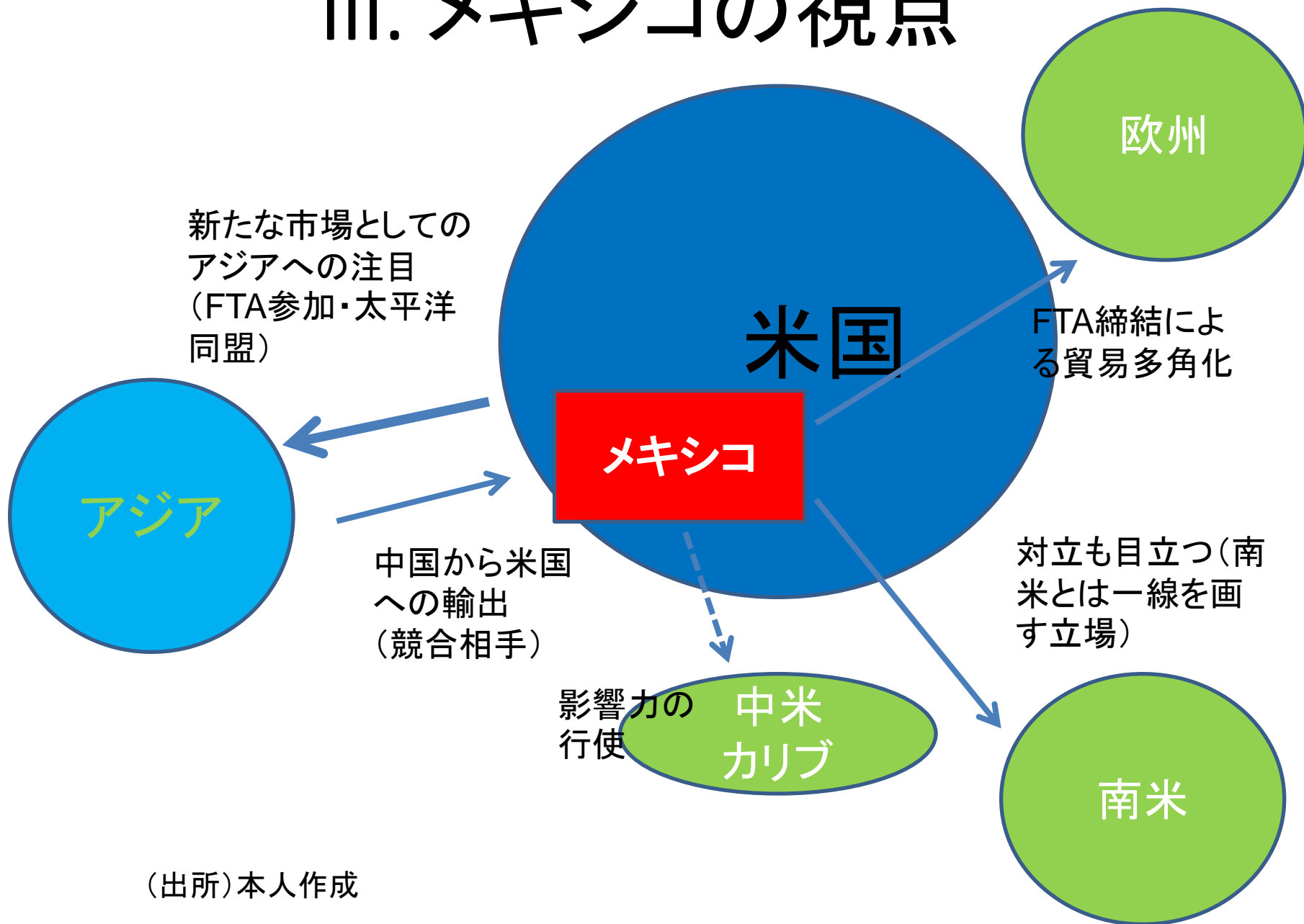
スペインの補完的役割

- **補完的位置づけ**
中南米にとっての行き先の多様化、共通言語の強み
- **スペインでの現状**
高い失業率、労働市場の構造改革の実施
- **今後の展望**
補完的役割は縮小

III.ブラジルの視点

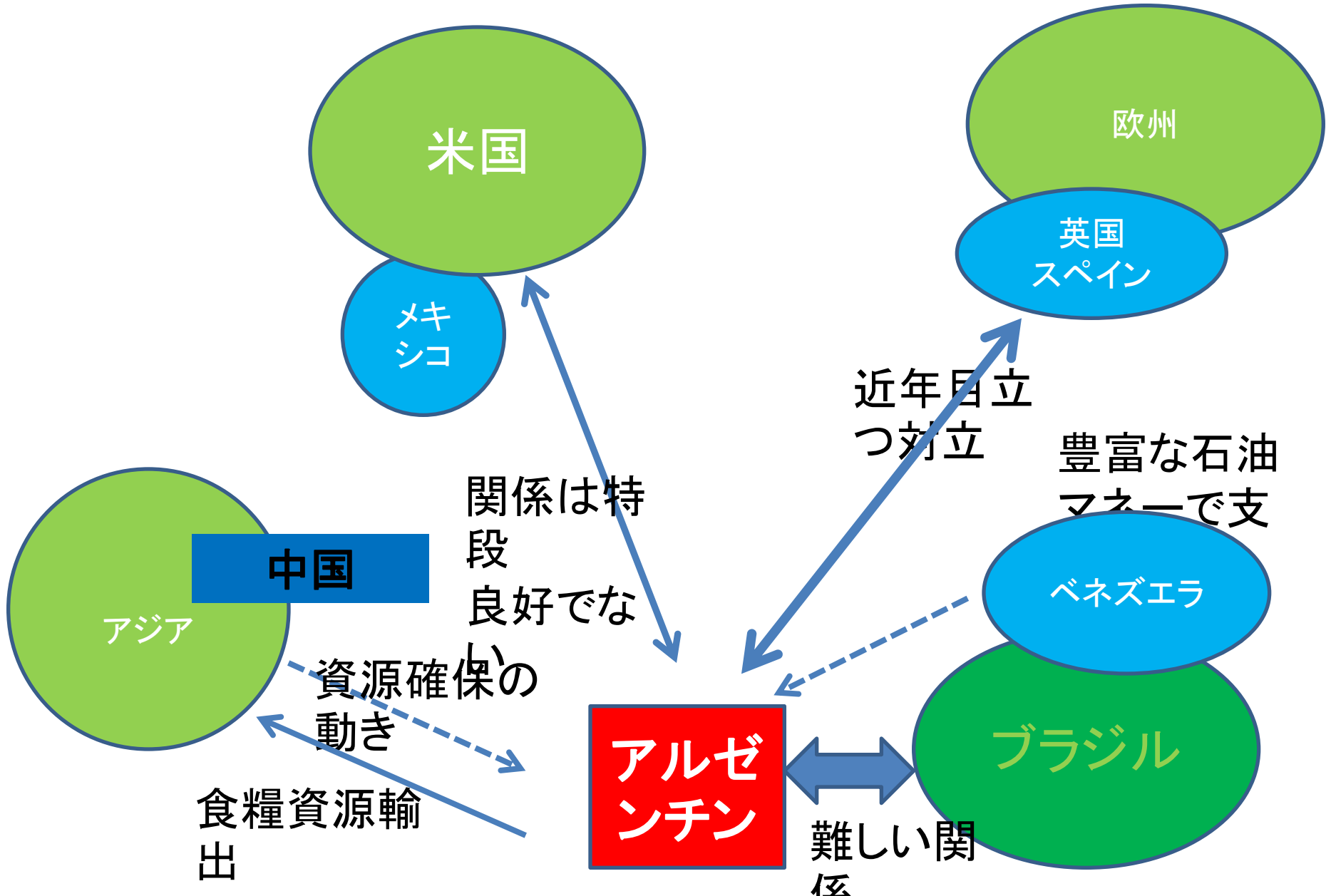


III. メキシコの視点

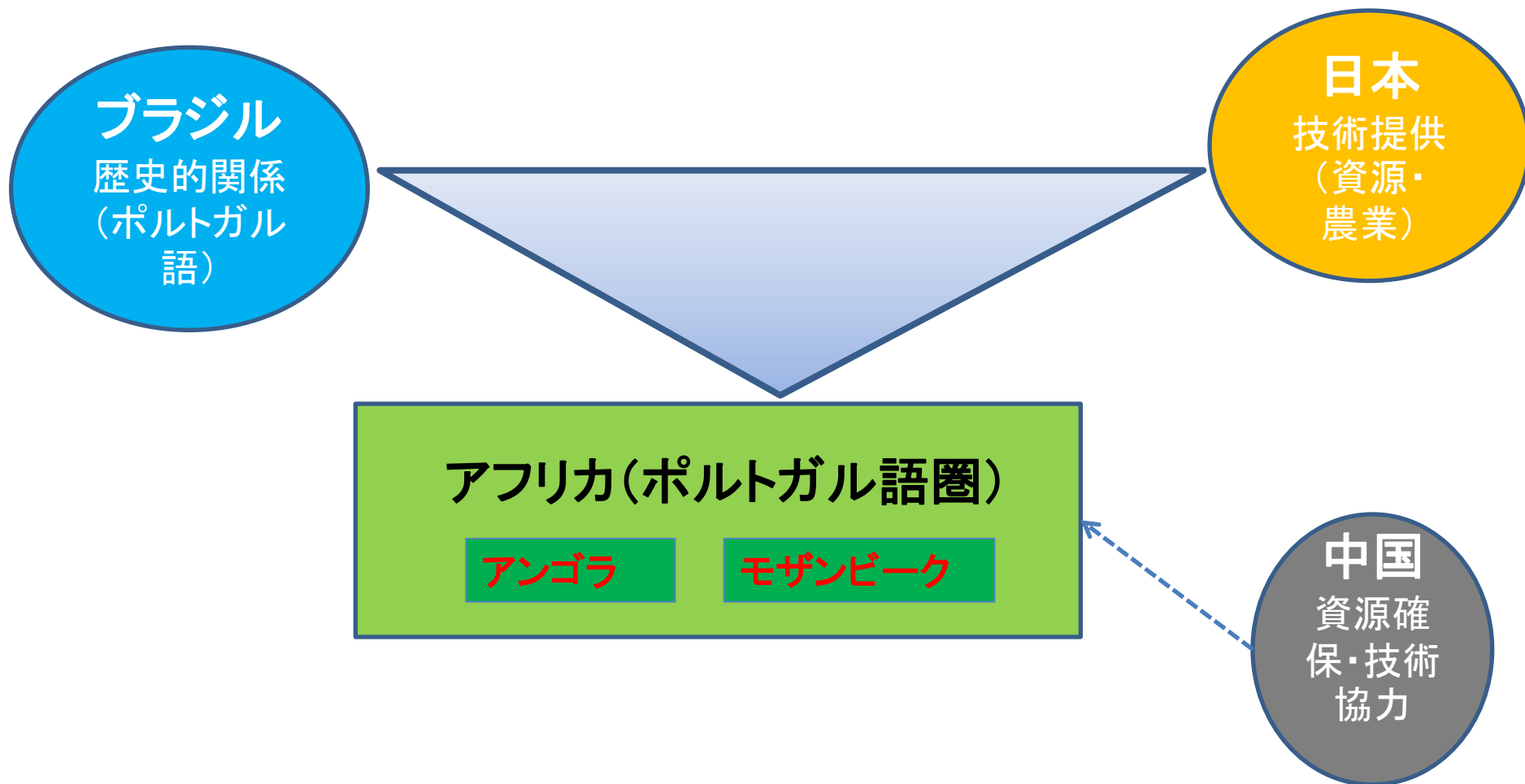


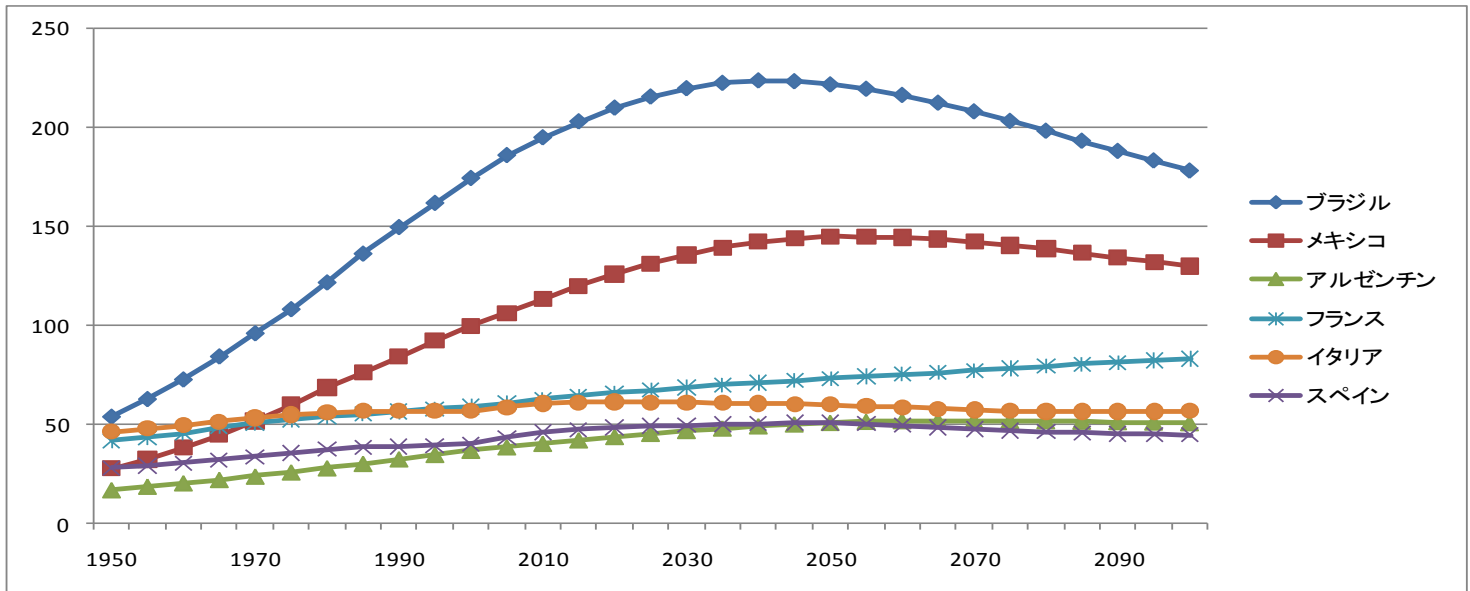
(出所) 本人作成

III. アルゼンチンの視点

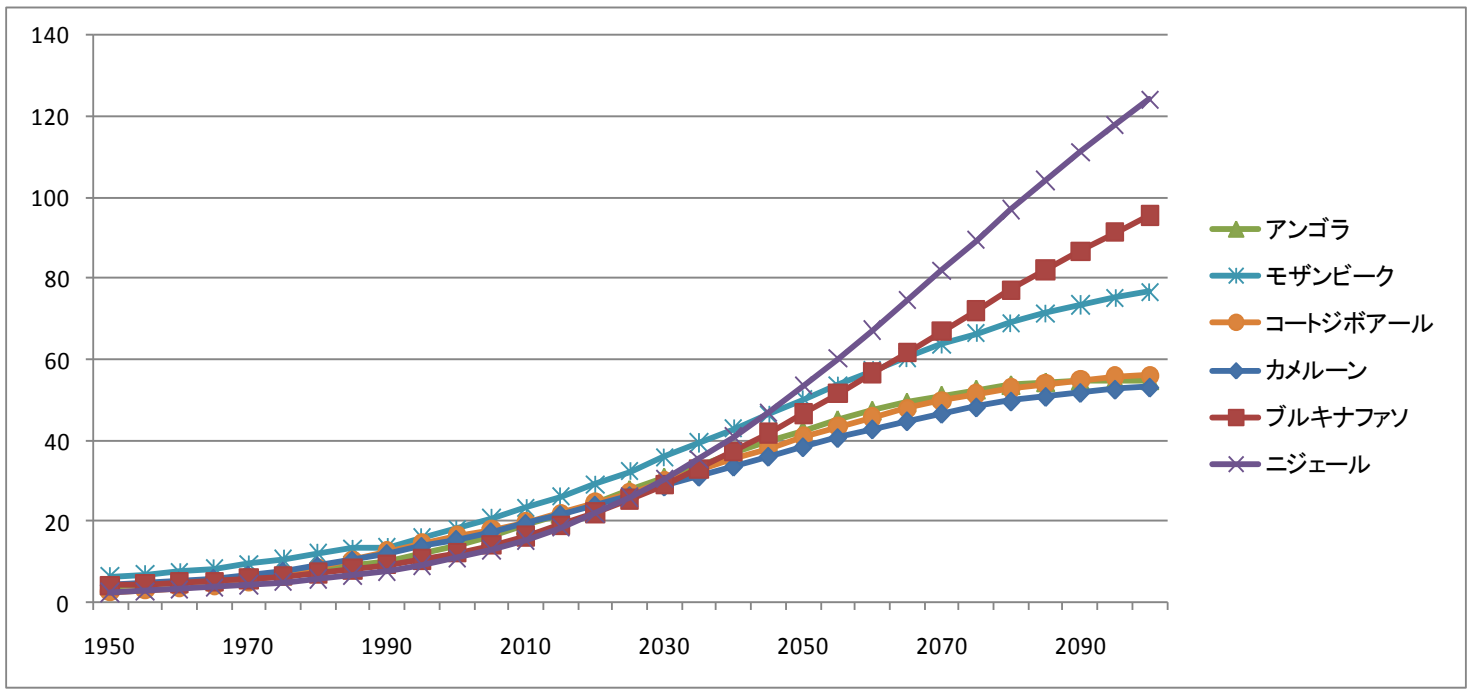


III. アフリカでの三角協力の事例





ラテン圏主要国(南欧・中南米)の人口推移予測



アフリカのラテン語圏主要国の人口推移予測

(出所)国連のデータベースより筆者作成 (単位)百万人

総括

地域間横断研究の重要性

- **経済の一体化の加速**
経済のグローバル化に加え、南欧諸国での経済危機も加速促進の大きな要因に
- **既存の縦割りの見方**
地域研究も含めて縦割りの見方が依然として主流

既存のイメージの再構築

- **「ラテン」の既存のイメージ**
「アングロサクソン」「アジア」と比較して相対的にマイナスのイメージ
- **今後のイメージ**
南欧、ラテンアメリカに加えてアフリカのラテン語圏も重要な存在に